# 政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

| 施策の柱 | ２－３　ともに支えあう地域福祉社会を創る |
|---|---|
| 施策 | ２－３－１　地域福祉の充実 |

| 指標NO | 46 |
|---|---|

| 指標名 | 困ったときは地域で支えあうことができるので安心だと感じる | 単位 | % |
|---|---|---|---|

| 担当局（区） | 保健福祉局 |
|---|---|

| 区　分 | H23末<br>現状値 | H27中間評価<br>（H26末値） | H30中間評価<br>（H29末値） | H34最終評価<br>（H33末値） | 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 目標値 | ― | 29.0 | 35.0 | 40.0 | △ |
| 現状値 | 23.1 | 26.0 | － | － | |

| 目標設定の考え方 | 誰もが地域で安心して生活するためには、様々な生活課題に対応する「地域力」を高め、地域で支えあうことが極めて重要であることから、様々な主体による支えあい活動を促進することとして目標値を設定した。 |
|---|---|

【達成状況の分析】

全ての市民が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域で支えあう仕組みづくりを進めるため、さまざまな取組みを実施してきたところだが、H26末目標値の29%に到達しなかった。
町内自治会の加入促進については、目標を達成できなかったものの、高齢者を対象とした地域見守り活動への支援、若葉区の地域福祉団体活動への助成、小中台・犢橋地域福祉交流館の運営、社協が実施する地域ぐるみ福祉ネットワーク事業への助成、民生委員・児童委員の配置などは順調に実施されたところである。
これらの施策の成果として指標の数値は向上しているが、地域における福祉活動についての周知が進んでいない、また、活動が知られていても市民（主に20～60代）の安心感につながっていない状況などが推測され、そのために目標値が達成できなかったと考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

当初、若葉区のみで実施してきた地域福祉団体活動支援については、地域活性化支援事業として全区で実施していく。
その他の施策についても、引き続き実施していくほか、平成26年度に策定した「支え合いのまち千葉 推進計画（第3期千葉市地域福祉計画）」の推進により、地域で支えあう仕組みづくりを進め、全ての市民が安心して生活できる地域の実現に向けて取り組んでいく。

## 指標を構成する事業

### 計画事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 計画内容 | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 地域見守り活動への支援 | 助成 | 4団体 | 30団体増 | 34団体 | 34団体 | 達　成 | 0 |
| 2 | 若葉区地域福祉団体活動支援 | 地域福祉団体活動助成 | ― | 10件/年 | 10件/年 | 10件/年 | 達　成 | 480 |
| 3 | 町内自治会の加入促進 | 加入世帯数 | 295,000世帯 | 2,000世帯増／年 | 301,000世帯 | 298,494世帯 | 未達成 | 0 |

### その他事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 事業量（H24～26） | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 地域福祉活動施設 | 整備、管理運営 | 2か所（小中台、犢橋）の整備、管理運営 | 2か所の管理運営 | 2か所の管理運営 | 2か所の管理運営 | 達　成 | 37,458 |
| 2 | 地域ぐるみ福祉ネットワーク | 社会福祉協議会に対し補助（補助事業数） | 2事業 | 2事業 | 2事業 | 2事業 | 達　成 | 25,527 |
| 3 | 民生委員・児童委員活動 | 委員数 | 1,423人 | 1,434人 | 1,434人 | 1,460人 | 達　成 | 553,671 |

# 政策評価シート 【個票：生活実感・行動指標】

| | |
|---|---|
| 施策の柱 | ２－３　ともに支えあう地域福祉社会を創る |
| 施策 | ２－３－１　地域福祉の充実 |

| | |
|---|---|
| 指標NO | 47 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標名 | この１年間に、地域福祉活動に参加したことがある | 単位 | % |

| | |
|---|---|
| 担当局（区） | 保健福祉局 |

| 区　分 | H23末<br>現状値 | H27中間評価<br>（H26末値） | H30中間評価<br>（H29末値） | H34最終評価<br>（H33末値） | 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 目標値 | ー | 19.0 | 22.0 | 25.0 | × |
| 現状値 | 15.3 | 12.7 | － | － | |

| | |
|---|---|
| 目標設定の考え方 | 地域福祉活動は、「自助」「共助」「公助」の考え方に基づき、適切な役割分担のもと、多様化する地域課題を解決するために不可欠であることから、様々な主体による支えあい活動を強化することとして目標値を設定した。 |

【達成状況の分析】

地域福祉活動の活性化や担い手の増加を図るため、さまざまな取組みを実施してきたところだが、H26末の現状値はH23末の現状値より低下し、目標値を達成できなかった。
地域見守り活動への支援、若葉区地域福祉団体活動支援については、当初の予定通りの件数の助成を実施し、小中台・犢橋地域福祉交流館の運営や社協が実施する地域ぐるみ福祉ネットワーク事業への助成についても順調に実施してきたところである。
これらの施策が成果に結びつかなかった原因としては、全体的に活動参加者が減少する中、特に40代以上の年齢層における活動参加者の減少が大きかったためと推測され、そのことにより目標値が達成できなかったと考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

当初、若葉区のみで実施してきた地域福祉団体活動支援については、地域活性化支援事業として全区で実施していく。
その他の施策についても、引き続き実施していくほか、平成26年度に策定した「支え合いのまち千葉 推進計画（第3期千葉市地域福祉計画）」に基づく取組みを進め、地域住民等が主体となった共助の取組みを市と社協が連携して支援し、地域福祉活動の活性化や担い手の増加について一層の推進を図る。

## 指標を構成する事業

### 計画事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 計画内容 | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 地域見守り活動への支援 | 助成 | 4団体 | 30団体増 | 34団体 | 34団体 | 達　成 | 0 |
| 2 | 若葉区地域福祉団体活動支援 | 地域福祉団体活動助成 | ー | 10件/年 | 10件/年 | 10件/年 | 達　成 | 480 |

### その他事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 事業量（H24～26） | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 地域福祉活動施設 | 整備、管理運営 | 2か所（小中台、犢橋）の整備、管理運営 | 2か所の管理運営 | 2か所の管理運営 | 2か所の管理運営 | 達　成 | 37,458 |
| 2 | 地域ぐるみ福祉ネットワーク | 社会福祉協議会に対し補助（補助事業数） | 2事業 | 2事業 | 2事業 | 2事業 | 達　成 | 25,527 |

# 政策評価シート【個票：客観指標】

| | |
|---|---|
| 施策の柱 | ２－３　ともに支えあう地域福祉社会を創る |
| 施策 | ２－３－１　地域福祉の充実 |

| | |
|---|---|
| 指標NO | 48 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標名 | ボランティア登録者数 | 単位 | 人 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標の説明 | 市社会福祉協議会が運営するボランティアセンターにボランティアとして登録している市民の数 | 担当局（区） | 保健福祉局 |

| 区　分 | H23末<br>現状値 | H27中間評価<br>（H26末値） | H30中間評価<br>（H29末値） | H34最終評価<br>（H33末値） | 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 目標値 | ― | 9,250 | 9,620 | 10,000 | ◎ |
| 現状値 | 8,870 | 9,393 | － | － | |

| | |
|---|---|
| 目標設定の考え方 | 地域福祉の担い手として、ボランティア活動を行う市民を増加させることは極めて重要であることから、登録人数を着実に増加させることとして目標値を設定した。 |

【達成状況の分析】

地域福祉活動の担い手として、ボランティア活動を行う市民を増加させるため、さまざまな取組みを実施してきたところ、千葉市ボランティアセンターのボランティア登録者数については、H26末の目標値を達成した。

ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるボランティアの登録者数は、目標値を達成できなかったものの、同センターにおけるボランティアのコーディネート件数は目標値を大きく上回っている。

また、小中台・犢橋地域福祉交流館の運営により地域福祉活動の活性化を図っているほか、市社協の地域ぐるみ福祉ネットワーク事業に対し補助金を交付するなど、順調に各種施策を実施している。

これらの施策が成果に結びついたこと、また、東日本大震災を契機として市民の間で地域福祉の重要性が再認識されたことなどにより、目標値が達成できたものと考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

これまでの施策を引き続き実施していくほか、平成26年度に策定した「支え合いのまち千葉 推進計画（第３期千葉市地域福祉計画）」を推進し、地域の担い手育成について、地域住民等・市社協・市の協働により取り組んでいく。

## 指標を構成する事業

### 計画事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 計画内容 | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

### その他事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 事業量（H24～26） | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 地域福祉活動施設 | 整備、管理運営 | 2か所（小中台、犢橋）の整備、管理運営 | 2か所の管理運営 | 2か所の管理運営 | 2か所の管理運営 | 達　成 | 37,458 |
| 2 | 地域ぐるみ福祉ネットワーク | 社会福祉協議会に対し補助（補助事業数） | ２事業 | ２事業 | ２事業 | ２事業 | 達　成 | 25,527 |
| 3 | ちば生涯学習ボランティアセンターの運営 | ボランティアの登録受付（登録者数） | 個人313人<br>団体66団体 | 個人400人<br>団体85団体 | 個人400人<br>団体85団体 | 個人341人<br>団体80団体 | 未達成 | 543,433 |
| 4 | ちば生涯学習ボランティアセンターの運営 | 情報の発信及びコーディネート（コーディネート件数） | 118件 | 118件 | 150件 | 198件 | 達　成 | |

# 政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

| 施策の柱 | ２－４　高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る |
|---|---|
| 施策 | ２－４－２　地域生活支援の充実（高齢者） |

| 指標NO | 52 |
|---|---|

| 指標名 | 一人暮らしや支援の必要な高齢者が、地域で見守られて安心して暮らすことができる | 単位 | % |
|---|---|---|---|

| 担当局（区） | 保健福祉局 |
|---|---|

| 区　分 | H23末<br>現状値 | H27中間評価<br>（H26末値） | H30中間評価<br>（H29末値） | H34最終評価<br>（H33末値） | 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 目標値 | ― | 30.0 | 37.0 | 45.0 | △ |
| 現状値 | 22.9 | 25.8 | － | － | |

| 目標設定の考え方 | 超高齢社会が進展する中、一人暮らしや支援の必要な高齢者が地域で安心して暮らすためには、行政や関係機関との連携による地域での見守りが極めて重要であることから、様々な主体による地域の支えあい活動を推進することとして、目標値を設定した。 |
|---|---|

【達成状況の分析】

地域見守り活動への支援、あんしんケアセンターの整備、認知症対策の各種施策に加え、民生委員・児童委員活動を実施することで、地域の見守りを直接・間接的に支援してきたところであり、着実に指標数値は伸びたところであるが、一部地域では少子高齢化により自治会などの主体そのものの活動力の低下傾向もみられ、目標値には達しなかった。

【課題及び今後の取組みの方向性】

上記取組みを継続・充実することにより、地域の見守り活動を促進するとともに、地域包括ケアシステムの構築の推進により、地域で支え合う仕組みの強化及び様々な活動主体を育成していくことで、地域で見守られて安心して暮らすことができているという実感の醸成を図っていくこととする。

## 指標を構成する事業

### 計画事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 計画内容 | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | あんしんケアセンター（地域包括支援センター）の整備 | あんしんケアセンター | 12か所 | 12か所増 | 24か所 | 24か所 | 達　成 | 670,898 |
| 2 | 認知症疾患医療センターの設置 | 認知症疾患医療センター | ― | 設置 | 設置 | 設置 | 達　成 | 5,950 |
| 3 | 地域見守り活動への支援 | 助成 | 4団体 | 30団体増 | 34団体 | 34団体 | 達　成 | 4,553 |
| 4 | 若葉区地域福祉団体活動支援 | 地域福祉団体活動助成 | ― | 10件/年 | 10件/年 | 10件/年 | 達　成 | 480 |

### その他事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 事業量（H24～26） | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 成年後見支援センター運営 | センターの運営 | 1か所運営 | 1か所運営 | 1か所運営 | 1か所運営 | 達　成 | 29,702 |
| 2 | 認知症サポーター養成 | 養成人数 | 11,511人 | 9,000人 | 21,000人 | 24,831人 | 達　成 | 1,533 |
| 3 | 民生委員・児童委員活動 | 委員数 | 1,423人 | 1,434人 | 1,434人 | 1,460人 | 達　成 | 553,671 |

# 政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

| | |
|---|---|
| 施策の柱 | ２－５　障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る |
| 施策 | ２－５－３　就労支援と社会参加の促進 |

| | |
|---|---|
| 指標NO | 59 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標名 | 障害に対する理解が進み、障害のある人が地域で暮らしやすくなっている | 単位 | % |

| | |
|---|---|
| 担当局（区） | 保健福祉局 |

| 区　分 | H23末<br>現状値 | H27中間評価<br>（H26末値） | H30中間評価<br>（H29末値） | H34最終評価<br>（H33末値） | 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 目標値 | ― | 20.0 | 25.0 | 30.0 | △ |
| 現状値 | 16.1 | 17.5 | － | － | |

| | |
|---|---|
| 目標設定の考え方 | 障害のある人の就労支援などにより自立した生活を促進するとともに、障害のある人の社会参加の促進などにより、障害に対する理解を進めることとして目標値を設定した。 |

【達成状況の分析】

障害者への理解を促進する事業として、障害者福祉大会の開催、心の輪を広げる体験作文等の公募、心のふれあいフェスティバルの開催等、普及啓発事業に毎年取り組み、心のバリアフリーの促進に効果があったと考えられる。

また、「障害者就労支援講座パソコン・ビジネスマナー講座」は、受講生の進路が必ずしもパソコンを日常的に使用する業務ではなく軽作業が多いこと等から、平成25年度をもって廃止したが、「障害者職場実習事業」や障害者に対する他の就労支援事業である「障害者職業能力開発プロモート事業」等を平成26年度から開始した結果、新たに就労した障害者の数は、本実施計画指標No.60（新たに就労した障害のある人の数）のH27中間評価目標値を上回ることができ（目標値410人、H26末現状値439人）、障害のある方の自立した生活の促進に効果があったと考えられる。

これらの取組みなどにより、指標が向上したと考えられるが、市民が「障害のある人が地域で住みやすくなった」と大きく実感するまでには至らなかった。

【課題及び今後の取組みの方向性】

今後も障害者への理解促進のための普及啓発事業にも引き続き取り組んでいくとともに、障害者の就労支援事業を充実させ、障害者の自立した生活を促進していく。同時に、平成28年4月に障害者差別解消法が施行されることから、法の趣旨に基づいた取組みの必要性を周知していく。

## 指標を構成する事業

### 計画事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 計画内容 | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 障害者の就労支援と社会参加の促進 | 障害者就労支援講座　パソコン・ビジネスマナー講座 | 定員　20名 | 定員　20名増 | 定員　40名 | 中止 | 中　止 | 0 |

### その他事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 事業量（H24～26） | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 障害者福祉大会の開催 | 開催 | 1回 | 1回／年 | 1回 | 1回 | 達　成 | 2,381 |
| 2 | 心の輪を広げる体験作文等の募集 | 「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」の募集 | 1回 | 1回／年 | 1回 | 1回 | 達　成 | 275 |
| 3 | 心のふれあいフェスティバルの開催 | 心のふれあいフェスティバルの開催 | 1回 | 1回／年 | 1回 | 1回 | 達　成 | 450 |
| 4 | 明るいくらし促進事業 | 各種イベントの開催 | 開催 | 開催 | 開催 | 開催 | 達　成 | 3,245 |

# 政策評価シート【個票：客観指標】

| | |
|---|---|
| 施策の柱 | ４－１　市民の安全・安心を守る |
| 施策 | ４－１－２　防災体制の充実 |

| | |
|---|---|
| 指標NO | 114 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標名 | 災害時地域支えあい事業取組団体数 | 単位 | 団体 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指標の説明 | 災害時地域支えあい事業に取り組んでいる自治会等の団体数 | 担当局（区） | 総務局 |

| 区　分 | H23末<br>現状値 | H27中間評価<br>（H26末値） | H30中間評価<br>（H29末値） | H34最終評価<br>（H33末値） | 達成状況 |
|---|---|---|---|---|---|
| 目標値 | ― | 138 | 246 | 438 | △ |
| 現状値 | 66 | 71 | － | － | |

| | |
|---|---|
| 目標設定の考え方 | 各区の新規取組団体数を段階的に拡大する考え方により、目標値を設定した。 |

【達成状況の分析】

災害時地域支えあい事業については、平成２６年７月に「千葉市避難行動要支援者名簿に関する条例」が施行されたことにより、条例に基づく町内自治会等への避難行動要支援者名簿の提供へ移行した。

なお、避難行動要支援者名簿を提供している団体数は、平成26年度末時点で112団体である。

【課題及び今後の取組みの方向性】

避難行動要支援者の支援体制構築については、「千葉市避難行動要支援者名簿に関する条例」に基づく地域への名簿提供の制度を活用して進めていく。

## 指標を構成する事業

### 計画事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 計画内容 | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 自主防災組織の結成促進 | 自主防災組織の結成数 | 936組織 | ９０組織 | 1,026組織 | ９８９組織 | 未達成 | 31,848 |
| 2 | 避難所運営体制の整備 | 避難所運営委員会の設置 | 市民向け手引きの作成 | 全市的に設置 | 全市的に設置 | 全市的に設置 | 達　成 | 0 |
| 3 | 町内自治会の加入促進 | 加入世帯数 | 295,000世帯 | 2,000世帯増／年 | 301,000世帯 | 298,494世帯 | 未達成 | 0 |

### その他事業

（千円）

| No. | 事業名 | 主な取組項目 | H23末現況 | 事業量（H24～26） | H26末目標 | H26末実績 | 進捗 | 事業費 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 災害時地域支えあい事業 | 災害時地域支えあいに取り組む団体数 | 66 | 72 | 138 | 71 | 未達成 | 0 |